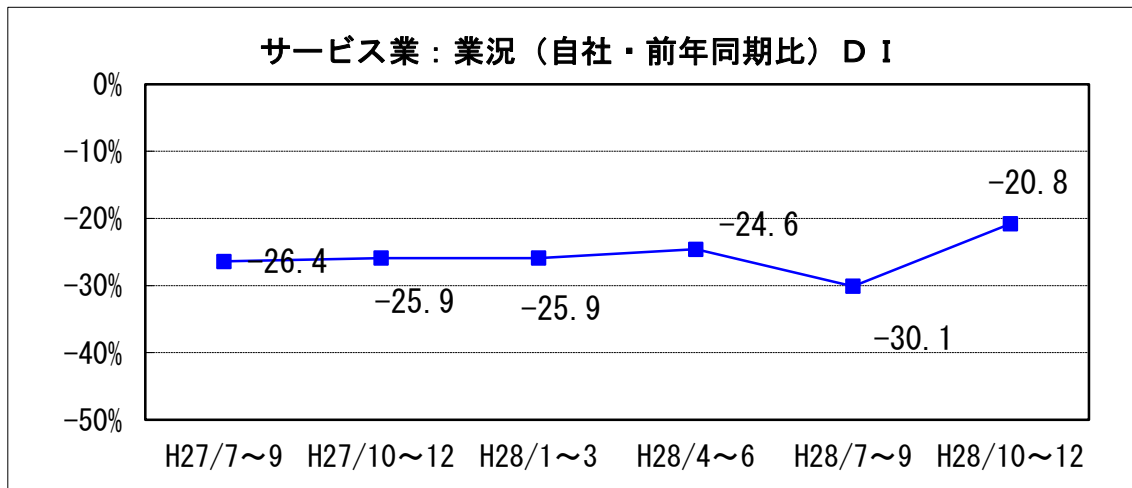


5. サービス業の動向

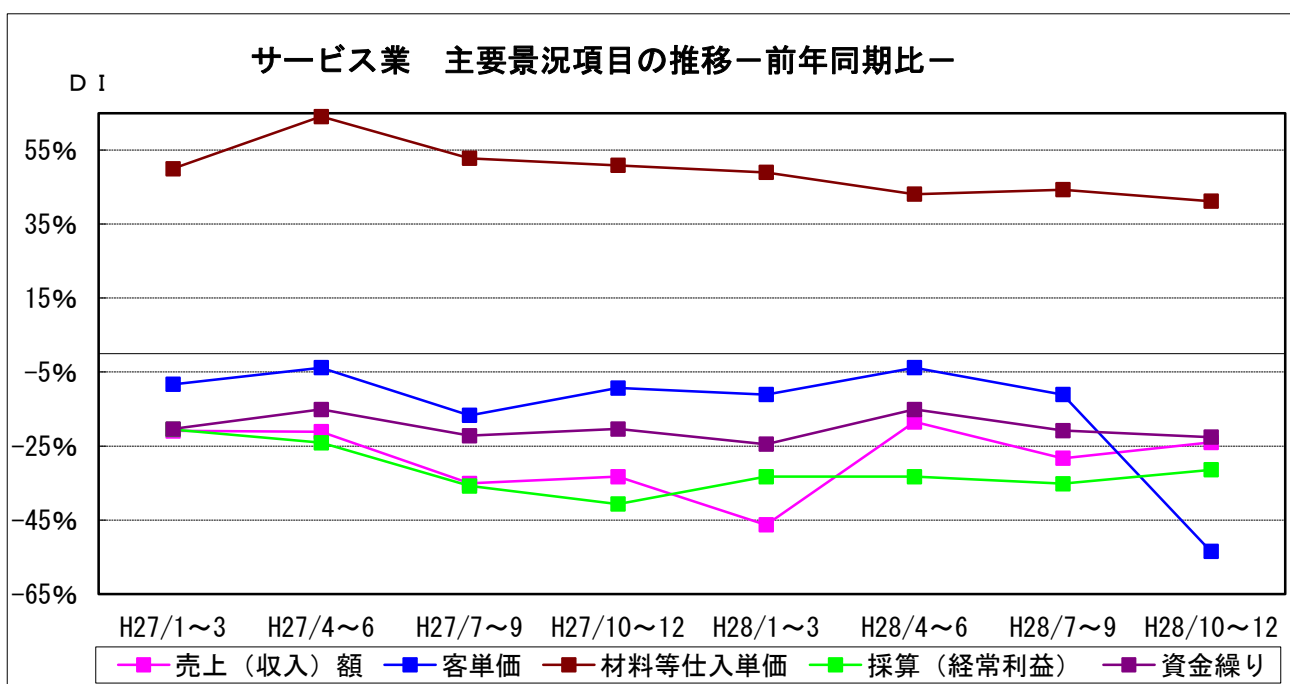
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲20.8。前期▲30.1から大幅に上昇した。来期見通しは▲20.7とほぼ横ばいの見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

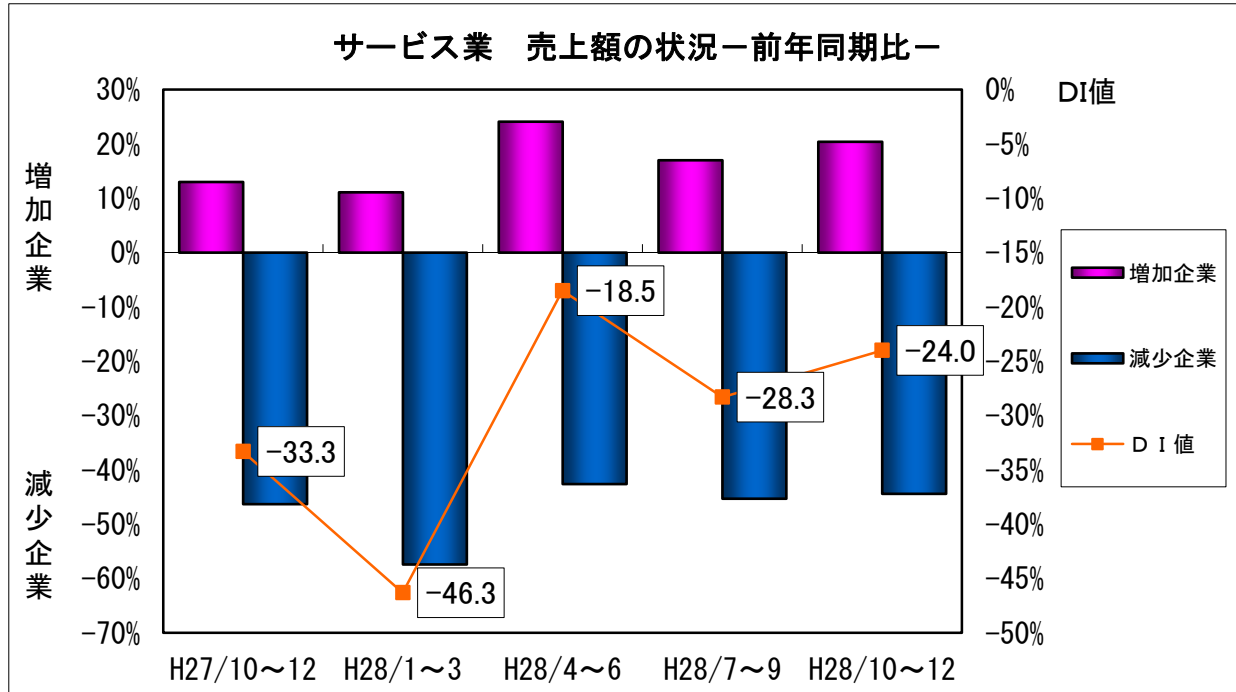
	前々期 (28年4月~6月)	前期(A) (28年7月~9月)	今期(B) (28年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲18.5	▲28.3	▲24.0	4.3	▲24.0
客単価	▲3.8	▲11.1	▲53.5	▲42.4	▲11.1
材料等仕入単価	43.1	44.3	41.2	▲3.1	21.2
採算(経常利益)	▲33.3	▲35.2	▲31.4	3.8	▲29.6
資金繰り	▲15.1	▲20.8	▲22.6	▲1.8	▲20.8



(2) 主要項目の概況

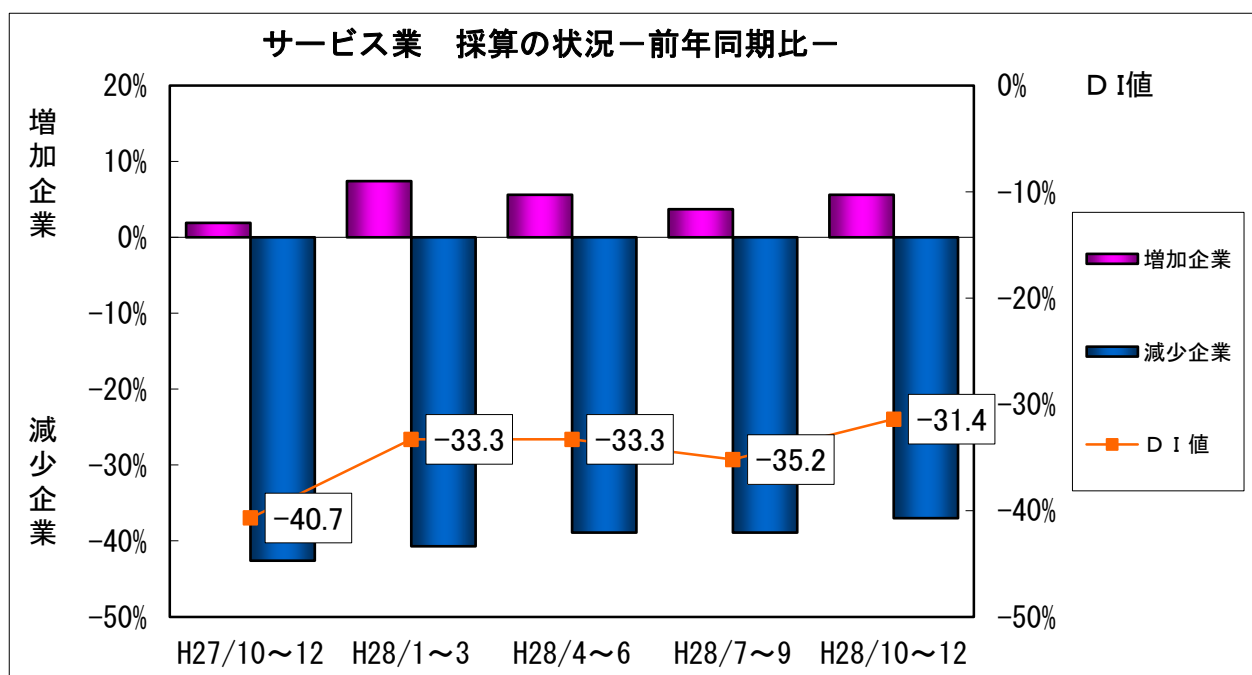
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I値は、▲24.0。前期の▲28.3から4.3ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲24.0と横ばいの見込み。



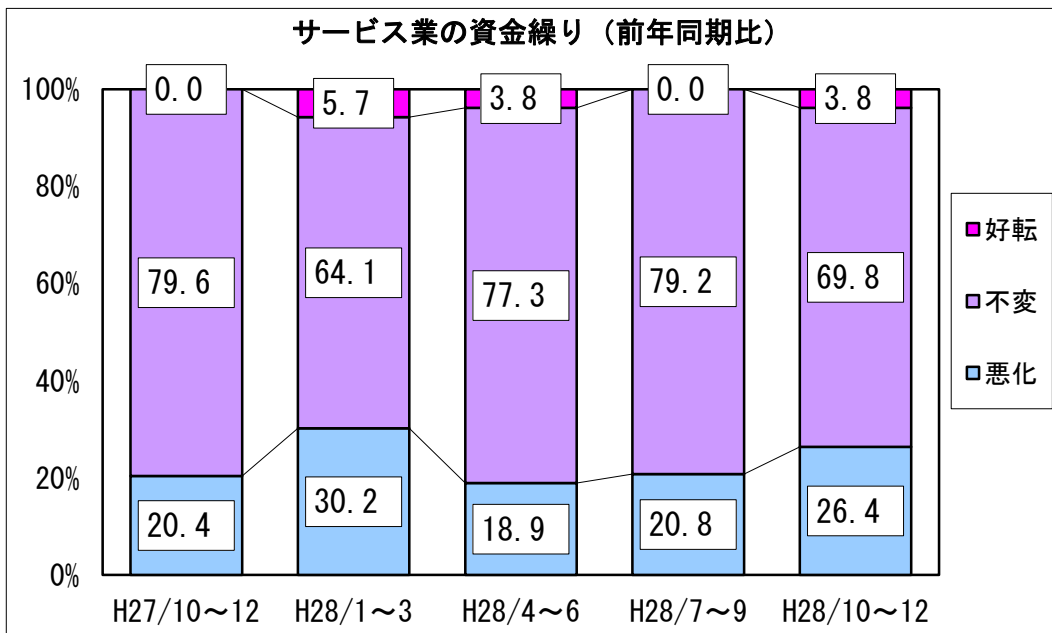
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲31.4。前期の▲35.2より3.8ポイントと小幅ながら上昇した。来期見通しは、▲29.6と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、▲22.6。前期の▲20.8から▲1.8ポイント下落した。来期見通しは▲20.8と改善の見込み

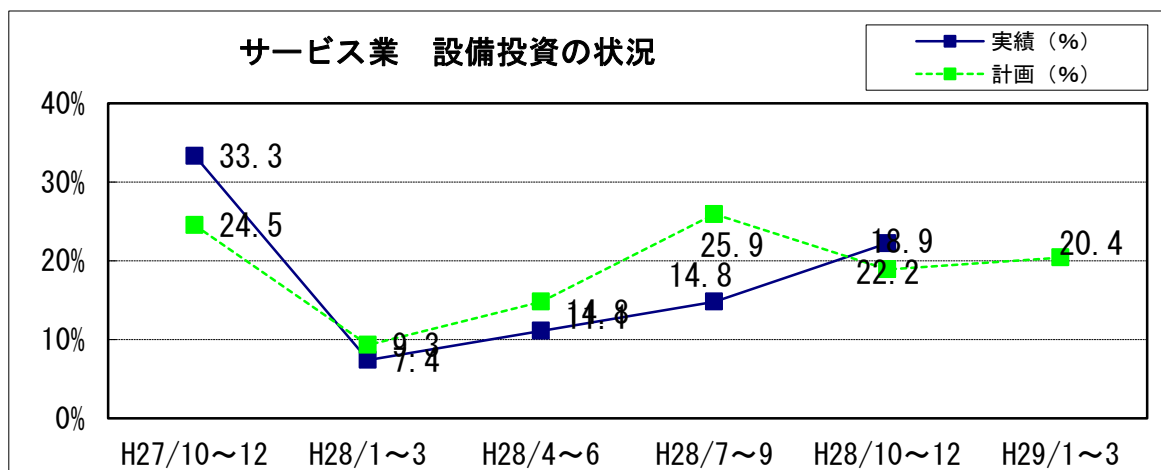


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	8	0	3	1	2	1	1	1	1	46
(%)	14.8	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	85.2
今期実施 (実数)	12	0	4	3	3	2	1	0	2	42
(%)	22.2	0.0	33.3	25.0	25.0	16.7	8.3	0.0	16.7	77.8
来期計画 (実数)	11	1	5	3	2	2	1	0	1	43
(%)	20.4	9.1	45.5	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	79.6

今期設備投資を実施した企業は12社(22.2%)。前期(平成28年7~9月期)は8社(14.8%)であった。来期は11社(20.4%)が設備投資を計画している。

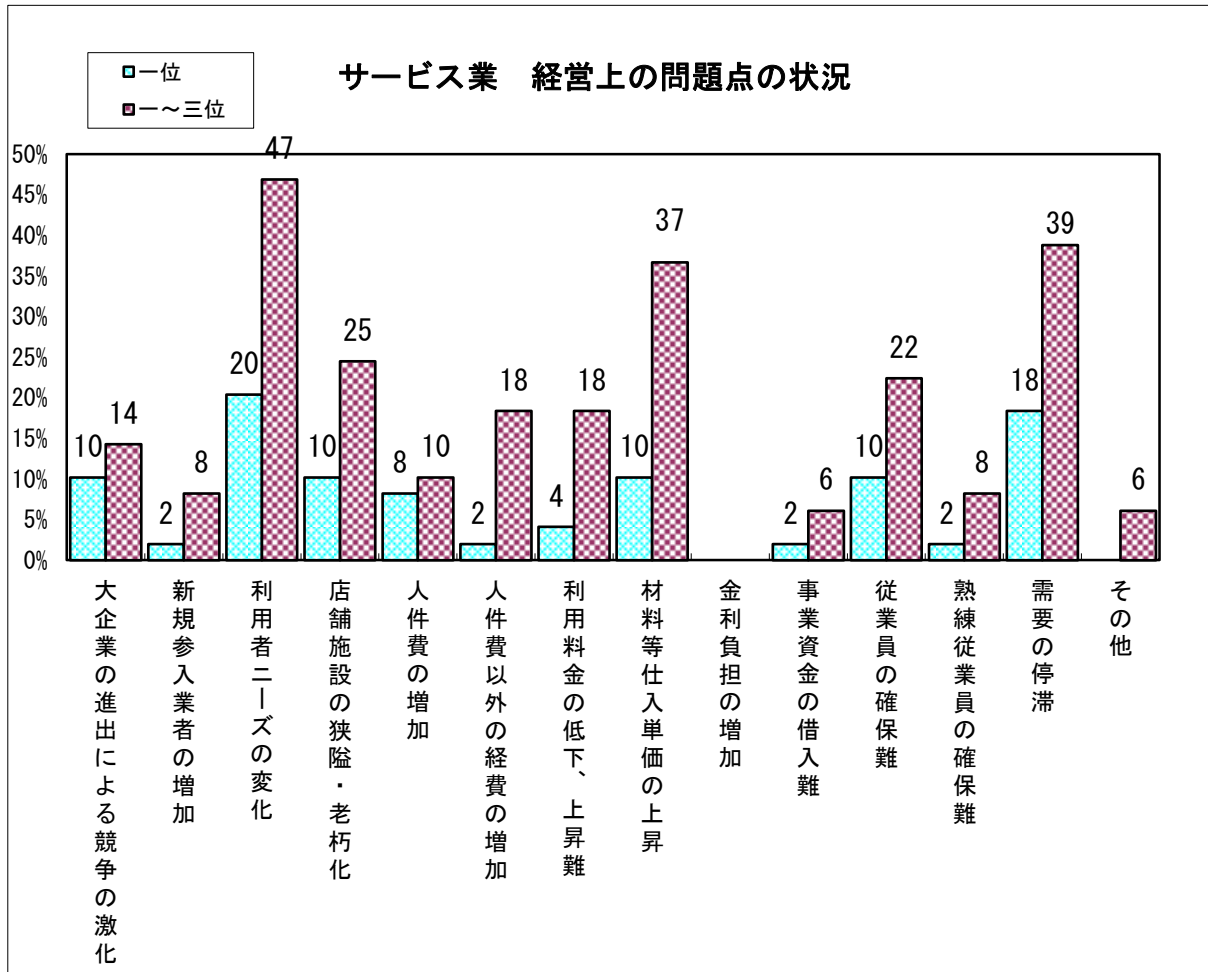


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 35.3%→今期 46.9%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 45.1%→今期 38.8%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 37.3%→今期 36.7%)

となっている。



以上